

Press Release

2021 年 1 月 13 日

アステラス製薬と Actinium Pharmaceuticals 分子標的型放射線治療に関する共同研究を開始

- Rx+[®] 事業の一つ、診断と治療を融合させたセラノスティックスの開発を目指して -

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:安川 健司、以下「アステラス製薬」)は、Actinium Pharmaceuticals, Inc.(本社:米国ニューヨーク州、会長兼 CEO: Sandesh Seth、以下「Actinium 社」)と分子標的型放射線治療に関する共同研究を開始しました。これはアステラス製薬が Rx+[®]事業^{*1}の一環として進めている、診断と治療を融合させたセラノスティックス開発の取り組みです。

セラノスティックス(Theranostics)とは、治療(Therapeutics)と診断(Diagnostics)を組み合わせた言葉で、個々の患者さんの病変の位置や状態を診断し、それぞれに適した治療かどうかを判定しながら行う治療法や考え方です^{*2}。標的が同じ治療薬と診断薬を同時に開発し、その診断薬を用いることによって、治療薬が有効性を示す可能性の高い患者さんをあらかじめ絞り込むことで、より効率的かつ効果的な治療法を提供できると期待されます。

本共同研究では、アステラス製薬がこれまでに培ってきた創薬ケイパビリティをもとに見いだしたがん領域の標的分子と、Actinium 社が有する α 線放出核種^{*3}(Actinium-225)を用いた核医学の技術を組み合わせた治療薬の効果の検証に取り組めます。当該標的分子に対する診断薬については、すでにアステラス製薬において前臨床試験を実施中であり、本共同研究で有望な治療薬候補が見いだされた場合、セラノスティックスの開発に向けて診断薬と治療薬を組み合わせた臨床試験を開始予定です。

アステラス製薬は Rx+[®]事業^{*1}を通じて、科学的根拠に基づくヘルスケアソリューションによって、心身ともに健康に、自分らしく生きることができる社会の実現を目指しています。その活動の中で、手術や診断の精度向上による医療手段の最適化および治療アウトカムの最大化に取り組んでおり、診断と治療を融合させたセラノスティックスの開発もこの一環です。

本件によるアステラス製薬の業績への影響は、通期(2021 年 3 月期)連結業績予想に織り込み済みです。

以上

*1: Rx+®事業: 医療用医薬品(Rx)事業で培ったアステラス製薬の強みをベースに、最先端の医療技術と異分野の先端技術を融合させることで、Patient Journey(診断、予防、治療および予後管理を含む医療シーン全般)全体において患者さんに貢献し、単独で収益を生み出せる事業。

詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/ja/partnering/rx-plus>)をご覧ください。



*2: Chen XS, Theranostics. 2011; 1:1-2.

*3: α 線放出核種: 壊変の過程で α 線を放出する核種。 α 線は飛程距離が短く、エネルギーが高いという特徴を持ち、薬剤の集積部位選択的に細胞を破壊することが期待される。

アステラス製薬株式会社について

アステラス製薬は、世界 70 カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ/テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます(Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品(Rx)事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス(Rx+®)の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>)をご覧ください。

注意事項

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

お問い合わせ先:

アステラス製薬株式会社

コーポレート・アドボカシー&リレーション部

TEL: 03-3244-3201 FAX: 03-5201-7473